

実験概要

期間 10月13日(土)～21日(日) 9日間

- 「水都大阪フェス2012の開催にあわせて実施

内容

- 3店舗出店 テーブル24台、96席
- イルミネーション、ライトアップ実施

実施体制

北新地ガーデンブリッジカフェ実行委員会

- 地域、企業、大学、大阪府、大阪市の組織からなる実行委員会により運営

実験結果

カフェ利用者数 2,232人(7日間)

※当初9日間を予定→悪天候により2日間中止(計7日間実施)

通行量

社会実験により通行量は増加

- 実験期間中は通行量が2～3割増加

課題

公共空間の利活用

- 道路、公園、その他の可能性を検討

安全面

- 道路上(橋梁)では交通管理面において群衆対策が必要

法制面

- アルコール販売やイベントなど、道路上(橋梁)では、安全を阻害する要因となる可能性があるものは規制のハードルが高い

設備面

- カフェ・イベント等に必要な電気設備が必要
- 上下水道設備の設置

方向性

スムーズな許認可取得の推進

- 相談窓口の一元化
- 許認可手続きの簡略化
- 制度・ルールの改善と基準の明確化

賑わい形成

- 事業者公募のあり方検討(期間、地域連携の強化等)
- カフェの魅力づくりのための連携体制・仕組みづくり

将来のハード整備

- 魅力づくりの視点から「使い方」(ソフト)
- を重視した「かたち」(ハード)の検討
- 官民が一体となったプランづくり

民主導による地域の活性化、シンボル空間創出エリアとしての集客拠点

【将来展開に向けて】

- * 水都大阪パートナーズ、及び水都大阪オーソリティと連携した当エリアの活性化
- * 橋梁、周辺水面、公園等のポテンシャルを最大限に引き出す取り組みの検討

将来展開に向けたイメージ

- 公共空間を活かした事業展開
- 水の回廊と連携した事業展開
- 周辺地域の活力を活かした事業展開

水辺バル

連携

- 【機能】
- ・演出(光)
 - ・飲食店舗 など



公園部



橋上部

船上部

- 【機能】
- ・カフェ
 - ・にぎわいスペース など

- 【機能】
- ・船着場
 - ・飲食店舗
 - ・イベントスペース など

連携
USJ
ほたるまち



連携
大阪城
八軒家浜

